

今週の話題：

<世界の AIDS監視体制 第 1部>

世界の HIV/AIDS流行状況 (1999年末):

WHOと国連エイズ共同計画 (UNAIDS) は 1999年末までに全世界的に 3360万人が罹患して生存、今年中に 560万人 (15歳未満の小児 57万人を含む) が新たに感染、年末には計 1630万人 (内、1999年は 260万人) が流行の開始以来死亡と概算している。11月 15日現在の WHO公式報告数は、計 2201461症例であり、これは、前年比 214244人 (約 10%) の増加である。工業化諸国家での減少は発展途上国、特にサブ・サハラ・アフリカ諸国での増加により相殺されている。

局地的な動向：

上記 560万人のうち 380万人がサブ・サハラに居住し、そこでは今年中に 220万人 (世界の 85%) が死亡したと概算されている。アジアでは、比較的低い有病率を保持している。東南アジアでは患者の概数は 600万人、ラテンアメリカ・カリブでは概算 170万人、東欧や中央アジアでは感染者数は急増している。北米・西ヨーロッパ・太平洋の工業化諸国では抗レトロウイルス治療が可能になったために、AIDSの進展や死亡、母子感染の減少が継続しているが、新感染者数は数年来一定し概算 150万人である。サブ・サハラでは来世紀も増え続けると予測されている。工業化諸国では AIDS予防プログラムは未だ成功していない。

地図 1: 1999年末現在の地域別 HIV/AIDS感染成人、小児の推定数

表 1: 1999年 11月 15日現在の累積 AIDS患者報告数 (WER参照)

表 2 1999年 11月末現在における地域別 HIV/AIDS統計と特徴

地域	HIV/AIDSに罹患し生存中の成人と小児 (単位: 100万人)	新規感染の成人と小児 (単位: 100万人)	成人の有病率 (%)	HIV陽性成人中の女性の割合 (%)	主な伝播形式
サブ・サハラ・アフリカ	23.3	3.8	8.0	55	hetero
北アフリカと中東	0.22	0.019	0.13	20	IDU, hetero
南アジアと東南アジア	6.0	1.3	0.69	30	hetero
東アジアと太平洋	0.53	0.12	0.068	15	IDU, hetero, MSM
ラテンアメリカ	1.3	0.15	0.57	20	MSM, IDU, hetero
カリブ	0.36	0.057	1.96	35	hetero
東ヨーロッパと中央アジア	0.36	0.095	0.14	20	IDU, MSM
西ヨーロッパ	0.52	0.03	0.25	20	MSM, IDU
北アメリカ	0.92	0.044	0.56	20	MSM, IDU, hetero
オーストラリアとニュージーランド	0.012	0.0005	0.1	10	MSM, IDU
総数	33.6	5.6	1.1	46	

*罹患生存成人: MSM=男性同性愛者間の伝播; IDU=薬物注射を介した伝播; hetero=異性間の伝播

<WHO 東地中海地区におけるポリオ根絶への進展状況、1998年1月-1999年10月>

昨年、WHO 地域委員会は、2000年までにポリオを根絶するための決議案を採択。根絶戦略は、東地中海地域の各国で遂行中である。

定期的予防接種の適用範囲：1998年の報告では、1歳までに経口ポリオワクチンの3回服用（OPV3）は82%で行われている（幅：24%-100%）。

補足的な予防接種活動：昨年と本年中、NIDs¹は地区23諸国/地方の19個所で継続実施。野生型ウイルスの伝播はアフガニスタン、エジプト、イラク、パキスタン、ソマリア、スーダンで今も記録中。イエメンでは疑。NIDsは隣接するヨーロッパでMECACAR作戦の名の下、アフリカでは国境を越えて統合的に実施中。

監視体制：昨年の中間までに、ジブチを除き急性弛緩性麻痺（AFP）の監視体制を確立。

検査室のネットワーク：東地中海地域の検査室ネットワークは12からなる。

ポリオの発生率：昨年から本年10月まで、地区の確定診断症例数は2342例から446例へと減少。1996年以来、アフガニスタン、エジプト、イラク、パキスタン、スーダンからのみ症例が報告されている。

編集ノート：ほとんどの国々では現在ポリオは存在しておらず、質の高いAFP監視体制を有しており、ポリオを風土病とする国々におけるウイルス伝播の強さは迅速に減少しつつある。

脚注：¹目標となる年齢群（通常は5歳未満）の子供達全員に、以前に予防接種を受けたか否かに関わらず、投与と投与の間には4-6週間の間隔をあけてOPV（経口ポリオワクチン）の2回投与を行う大規模キャンペーン。

<インフルエンザワクチン>

2000年に南半球において使用するインフルエンザウイルスワクチンの組成に関する勧告への捕遺：A/モスクワ/10/99のようなワクチン株の生産は、現在まで未成功である。南半球の国々で来季に使用されるワクチンは、A(H3N2)成分としてA/シドニー/5/97のようなウイルスを含むことが容認される。

流行ニュース

ベルギーにおけるレジオネラ症

10月29日から11月7日の間にカペレンで行われた貿易博覧会后、80名の集団発生が報告された。死亡は4名。展示された渦巻き浴槽が感染源として最有力視されている。

アメリカ合衆国における黄熱

ベネズエラのボリーバル州を旅行したワクチン未接種の男性（48歳）が、9月23日に劇症肝炎と腎不全になり、10月4日に死亡した。

規制を必要とする疾患（1999年11月19日から25日までに受けた届け出）

コレラ、ペスト、黄熱の発生地域・症例数・死亡数の一覧表はWER本文の表を参照のこと。

（松本 優子、傳 秋光、宇佐美眞）